

平成27年第2回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成27年2月5日（木）午後1時30分～午後2時40分

2 場 所 沼津市水道部庁舎 3階 会議室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（細沼委員 土屋委員）

(2) 前回会議録の承認（三好委員 土屋委員）

(3) 議 案

なし

(4) 協 議

協議第3号 平成26年度一般会計補正予算について（第5回）

協議第4号 平成27年度一般会計予算について

協議第5号 沼津市育英条例の一部改正について

協議第6号 沼津市いじめ問題調査委員会設置条例の制定について

(5) 報 告

1) 沼津市教育委員会教育研究奨励賞の審査結果について

(6) その他

なし

4 出席者等

委員長 久松但、委員長職務代理者 細沼早希子、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、
教育長 工藤達朗、教育次長 工藤浩史、教育指導監兼学校教育課長 鈴木珠美、
教育企画室長 井原正利、学校管理課長 塩崎滋、教職員研修センター所長 神谷 修
文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長 勝又恵三、生涯学習課長兼ゆめとびら
船山所長 中村朗、青少年教育センター所長 相磯幸代、スポーツ振興課長兼勤労者体育
センター所長 原靖、市立高校事務長 杉山善英、調整担当 新井寿明
教育企画室主事 和泉百映、教育企画室主事 石渡輔

5 会 議

久松委員長が、午後1時30分開会を宣言する。

久松委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人なし。

久松委員長より、会議録署名人に細沼委員、土屋委員を指名する。

6 教育長挨拶

改めましてこんにちは。

本日は寒いですが、節分も過ぎ、一日一日春に近づいてきています。

今日は、静岡新聞の一面に「考え、議論する道徳へ」と大きく出ていました、道徳教育についてご報告したいと思います。現在も、小中学校では道徳の授業を行っているのですが、新聞がこれほど大きく載せる理由は、道徳の「教科化」が挙げられています。道徳の教科化と言われてもなかなか分かりにくいかと思しますので、ポイントだけをお話申し上げます。今も道徳の授業を行っていますが、教科ではありません。

例えば、数学、理科、社会等を授業で行ったのは教科です。沼津はそれに加え「言語科」という教科を新しく作りました。それと同じように、道徳が教科となります。ただの教科ではなく、「特別の教科」となります。教科となりますから教科書ができます。現在は教科書がありません。文部科学省指定の教科書はなく、副読本的に文部科学省が出している本がありますが、教科書ではないので、検定などありません。これから教科化になりますと、いくつかの出版会社が道徳の教科書を作ります。

文部科学省が検定を行った教科書の中で、沼津地区はどれを採用するかを決めるのです。また、教科になりますから、評価をすることになります。しかし、数学や国語のように5、4、3のような評価は基本的にはできませんので、ことばによる評価になります。この意味からも、特別な教科になるのです。今後、道徳は教科になり、評価をし、授業として決められた時間を必ず行うことになります。

そして、もう一つ中身について、教材を読むだけの「読みもの道徳」から、「考え、議論する道徳へ」の転換を図りたいということです。これはなかなか難しく、現在も議論しているという先生方もいらっしゃいますが、今後は一斉に同じような形で議論し合うことになります。教員の意識も、教科としての位置づけに変わります。

課題の一つは、色々な問題を、子どもたちに議論させるので、ただ感想を述べるだけでは盛り上がりませんから、教員の力量が問われるということです。新聞等の論調では、考え方の押しつけではないか、ひとつの方向性に持って行こうとしているのではないかなどのお話が出ていますが、逆に私は、しっかりとした学習指導要領ができる検定教科書になりますから、大きな心配はしていません。

ちなみに、平成30年度から教科化される予定ですので、前年度に教科書採択を行うことになります。

<協 議>

- | | |
|--------|---|
| 協議第3号 | 平成26年度一般会計補正予算について（第5回）
（学校教育課長 資料に基づき説明） |
| 久松委員長 | 本件に対するご質問等はいかがか。 |
| 久松委員長 | 特にご意見等がないので、協議第3号については原案とおりの議案とすることでおかしいか。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 久松委員長 | 異議ないようなので、協議第3号は議案とすることでお決する。 |
| 協議第4号 | 平成27年度沼津市一般会計予算について
（教育次長 資料に基づき説明） |
| 久松委員長 | 本件に対するご質問等はいかがか。 |
| 三好委員 | 小学校費の予算が前年度から減っている。この主な内容は何か。 |
| 学校管理課長 | 主なものは、学校の大規模改修費が前年に比べ1億2千万減っている。その理由は、26年度、27年度で原小学校の校舎の改修を行い、26年度は北校舎、27年度は南校舎を行うが、南校舎は北校舎よりも小さいため工事規模により減少している。 |
| 三好委員 | 幼稚園就園奨励費の事業費の予算が上がっている。これは、具体的にはどういうものか。 |

- 学校教育課長 これは私立23幼稚園を対象に、市が補助を行っているもので、私立幼稚園が保護者に対して保育料を減免する事業である。
- 三好委員 図書館について、3階に展示物があるが、あれは固定で中身は変わらないのか。文化財の展示のようだが、数カ月の期間で変わらないのか。
- 文化振興課長 予算は特に設けていないが、文化財保護費の中でできる範囲で展示していく。少しずつ更新している。今後は文化財センターが所有しているものを、文化財センター内に展示施設を作り展示していく。そこだけでは遠いので、図書館にも展示をしていく。
- 三好委員 スペースを使っているのだから、展示を変えていく工夫をすれば良い。
- 細沼委員 文化財振興費の事業費で、若山牧水記念館、庄司美術館は業務委託していて、芹澤光治良記念館は直営ということで良いか。直営にするか業務委託にするかはどのような基準で決めるのか。
- 文化振興課長 芹澤光治良記念館については、第2次行政改革プランに組み込み指定管理を検討していたが、商業施設ではない為、受け手がいないということから、しばらくは直営を考えており、このプランの中からも取り下げを考えている。
- 細沼委員 委託と直営では経費が変わるのか。
- 文化振興課長 指定管理にした方が、民間のノウハウを活かすことにより、指定管理にすると経費が下がる可能性がある。
- 細沼委員 民間が行うことで活性化することか。
- 教育長 施設規模から、収益をあげることはなかなか難しく、人件費を賄うほどの収益はなかなか難しい。
- 細沼委員 それでも、予算は1,000万円かかっている。
- 文化振興課長 職員は一人だが、臨時職員が3名いるための人件費となっている。
- 三好委員 資料の中の、シティプロモーション推進事業については非常に良いと思う。ぬまづの宝100選も外に向かって行うことはとても良い事業だと思う。これは教育委員会の所管ではないのかもしれないが、外に沼津市をアピールし、沼津市に人を呼び込むことで沼津が活気付くということは非常に大きなことなので、行うことはとても良い。
- 教育次長 ぬまづの宝推進課で行っているぬまづの宝100選には教育委員会の関係する施設もあるため、そう考えると教育委員会も関係してくる。
- 細沼委員 教育委員会に直接関係はしないが、今朝のNHKの番組「あさイチ」で沼津プロレスのママチャリ全国大会が放送され、沼津が紹介されていた。
- 土屋委員 沼津市から見える富士山というテーマで行ったレースに、沼津プロレスが参加した。シーラカンスの形をした自転車を作って走り、とても良い沼津の宣伝になっていた。
- 三好委員 スタジオに自転車を持ってきて見せており、沼津の宣伝には非常に良かった。沼津をアピールしたいと言ってテレビに出演していた。
- 教育次長 沼津プロレスはみなボランティアでやっている。
- 土屋委員 沼津プロレスは非常に頑張っているのだから、教育委員会に関わると良

いと思う。

- 久松委員長 この予算には、新体育館の建設については入っていないのか。
- ｽｰﾝ振興課長 香陵公園周辺整備関連事業ということで入っている。9,600万円の予算の計上のうち、ｽｰﾝ振興課で6,200万円が教育委員会で予算要求している。そのうち177万円は香陵グラウンドの代替機能として中瀬の整備を行っており、観光交流課の予算となるため、教育委員会で持っている予算は6,023万円となる。
- 久松委員長 代替え機能に対する予算か。
- ｽｰﾝ振興課長 来年度については、代替え機能の整備、移転についての予算となる。今沢小学校の整備と中瀬のグラウンドの整備となる。
- 久松委員長 代替えは中瀬に決まったのか。
- ｽｰﾝ振興課長 中瀬で行われるグランドゴルフ開催場所と地域公園の意味合いもある運動公園機能のため中瀬を整備し、ソフトボール、サッカー等の一部や学童野球の機能については、今沢小学校を整備する。機能をどう分散させていくかと言う考え方で、同じものを用意するという考え方はない為、整備事業となっている。
- 久松委員長 ご意見もつきたようなので、協議第4号については原案とおり議案とすることで良いか。
- 各委員 異議なし。
- 久松委員長 異議ないようなので、協議第4号は議案とすることで可決する。
- 協議第5号 沼津市育英条例の一部改正について
(学校管理課長 資料に基づき説明)
- 久松委員長 本件に対するご質問等はいかがか。
- 土屋委員 選考委員会は何月に行っているのか。
- 学校管理課長 例年7月に行っている。選考委員会から答申をいただいた上で、所得に応じて選考をしていくという流れとなっている。
- 久松委員長 ご意見も尽きたようなので、協議第5号については原案とおり議案とすることで良いか。
- 各委員 異議なし。
- 久松委員長 異議ないようなので、協議第5号は議案とすることで可決する。
- 協議第6号 沼津市いじめ問題調査委員会設置条例の制定について
(学校教育課長 資料に基づき説明)
- 久松委員長 本件に対するご質問等はいかがか。
- 三好委員 ほかの市町もすでに持っている条例なのか。
- 学校教育課長 東部の11市町の課長会の中で確認したところ、努力義務のため、条例化しているところと、要綱を制定し何か起こった時に対応するところなど、現在はバラバラである。沼津は進んでいると考えている。
- 三好委員 提案理由に、いじめに伴う重大事態の事実関係を明確にするための調査を行うためであるとなっている。例えば滋賀県のいじめ問題のような事態が起こったときに、メンバーを集められるようにしていて、特別何もな

- ければ定例的に会議を行うものではないのか。
- 学校教育課長 いじめ問題についての会議は市の中で行っているため、重大問題にかかわる事態の時に、このように調査をしていただくものである。
- 細沼委員 すでに行っているというものは、以前いただいた資料にいじめ問題対策委員会との記載があったが、そのことか。
- 学校教育課長 はい。それは定例的に行っている会議である。
- 三好委員 具体的に、いじめ問題対策委員会はどのようなことを行っているのか。
- 学校教育課長 沼津市いじめ不登校等対策連絡協議会と言う名称であり、主に相談指導学級検討部会と、生徒指導の関係と不登校の関係の部会に分かれ、生徒指導部長のいる部会と、スクールカウンセラーのいる心の相談の部会で、事例や学校の状況、市の状況を話合っていた後、いじめ対策部会で全市的にいじめの対策について検討していく形で定例的に行っている。
- 三好委員 具体的に、教育委員会へ方針を示す、あるいは各学校に対して指揮をとるなどはできないのか。
- 学校教育課長 生徒指導担当の校長も入り定期的に生徒指導部会で生徒指導主事を呼んで情報を伝えていただくなどしている。昨年は、いじめ防止対策基本方針を各学校で持つということになっていて、そこでのものを生徒指導部会に降ろしている。
- 土屋委員 その対策委員会のメンバーは、あくまでも教職の関係者なのか。
- 学校教育課長 スクールカウンセラーや警察のサポートセンターの方などもいる。
- 久松委員長 問題調査委員の委員委嘱時期は、事前に委嘱等をするのか。
- 学校教育課長 事前に委嘱をする。
- 久松委員長 ご意見も尽きたようなので、協議第6号については原案とおりの議案とすることで良いか。
- 各委員 異議なし。
- 久松委員長 異議ないようなので、協議第5号は議案とすることで可決する。

<報 告>

- 報告1) 沼津市教育委員会教育研究奨励賞の審査結果について
(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)
- 久松委員長 この件について質問等がありますか。
- 三好委員 この研究を出されて、優秀賞等を取られる先生の研究は、すごいことだと思うが、他の先生方が、この研究を見て、素直に取り入れようという環境になると良いと感じる。
- 教職員研修センター所長 今のご意見については、昨年もいただき、今年度は、教育委員会から、研修委託をしている、沼津教育審議会の教科部会の中で、年度当初の会合の中で紹介するようにしている。教職員には、普段使っているパソコン等にアップし、いつでもそれらを参考にできるようにしている。
- 昨年度までは、報告会に教育委員しかいなかったが、今年度から式の中

に位置づけをし、受賞者全員がその報告を聞けるように改善した。

細沼委員

2部の優秀賞3名の研究の中に、主体的な音楽表現活動が2名いる。どちらも、コミュニケーションの楽しさと、人が人に表現し、人と人が交流をつなげるということ。こういうことが豊かにできるということは、人間が人間らしく、内にこもらないで、とても良いと感じた。

久松委員長

ほかにないようなので、この件については報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

久松委員長

そのほかに何かあるか。

久松委員長

特にないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後2時40分

閉会